

2021年度 後期
富山大学公開講座

受講生
募集



公開講座受講の手引き

1. 富山大学の公開講座について

本学の講座には、「教養講座」、「語学講座」及び「体験講座」があります。

- (1) 公開講座の修了要件は、各講座の全開講日数の3分の2以上の出席です。修了された方には、富山大学から修了証書を授与します。
- (2) 多くの講座は、富山県生涯学習カレッジ（以下県民カレッジと記載）と連携しており、修了者には、県民カレッジから単位が認定されます。

2. 申込期限及び申込方法

- (1) 申込期限は、各講座開始日の**2週間前まで**です。講座によっては早めに締め切る場合がありますので、詳細については、富山大学ホームページでご確認ください。

(URL:<http://www.life.u-toyama.ac.jp/>)

- (2) 受講を希望される方は、下記のインターネットによる申込フォームからお申し込みください。なお、インターネットが利用いただけない場合は、受講生窓口で直接お申し込みください。（3キャンパスいずれの窓口でも可能です。）

申込フォーム URL : <https://forms.gle/qfGmSrNjySPNT1pG6>



- (3) 申込期限後であっても、募集定員に満たない場合は、随時申込みを受け付けておりますので、受講生窓口へお問い合わせください。
- (4) 申込者が少ない場合は、講座を中止することがあります。中止する場合は、各講座開始日の1週間前までにお知らせします。

3. 受講者の決定等

- (1) 抽選の場合を除き、各講座の受講者の決定は先着順とします。各講座開始日の1週間前までに受講可否及び受講料納入等の案内を原則メールで通知いたします。

4. 受講料の支払い

- (1) 受講料納入の案内に従って**各講座開始日の前日までに指定の銀行口座へ振込みください。振込手数料は受講者負担となります。**複数の講座の受講を希望される場合は、一括で振込みされることをお勧めします。
- (2) 受講料は、高校生以下及び富山県内の高等教育機関に在籍している学生については半額、富山大学学生は無料となっています。（ただし、申込み締切りの段階で制限する場合があります。）講座開講初日に学生証を提示してください。

5. 注意事項

- (1) **新型コロナウイルス感染状況によっては、講座を中止する場合があります。受講料は、中止決定日と講座の日程により全額又は一部を返還します。**
- (2) **受講料納入後に個人の都合で、参加を取りやめた場合、受講料の返還はできません。**ただし、大学側の都合で講座が開講できなかった場合は返還します。
- (3) 講座によっては、受講料の他にテキスト代、材料費、傷害保険料等が必要になる場合があります。
- (4) 自家用車で来学される方は、大学構内の駐車場が少ないため、平日は駐車できないことがありますので、ご承知ください。
- (5) その他不明な点がございましたら、各キャンパスの問合せ先にお尋ねください。

6. 新型コロナウイルス感染防止について

新型コロナウイルス感染防止対策のため、受講時は次のことを厳守願います。

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・設置されているアルコール消毒液で手指消毒を行ってください。
- ・発熱等風邪の症状がみられるときは、受講を控えてください。
- ・毎回自宅等で体温を測ってから出席してください。検温を忘れた方には、非接触型体温計にて会場前で検温し、37.5 度以上の方は、受講できません。
- ・講義室に入る際は、間隔を開けて入場して下さい。
- ・ソーシャルディスタンスのため、座席は十分離しております。また、換気のため、窓等を開けますので、ご協力願います。

受講生窓口. 問合せ先

[五福キャンパス]

〒 930-8555 富山市五福 3190 番地
国立大学法人富山大学 研究振興部 社会貢献課
TEL : 076-445-6956 E-mail : lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

[高岡キャンパス]

〒 933-8588 高岡市二上町 180 番地
国立大学法人富山大学 芸術系総務・学務課 総務・研究協力チーム
TEL : 0766-25-9138 E-mail : shougai@adm.u-toyama.ac.jp

[杉谷キャンパス]

〒 930-0194 富山市杉谷 2630 番地
国立大学法人富山大学 医薬系事務部 研究協力課
TEL : 076-434-7682 E-mail : kenkyo@adm.u-toyama.ac.jp

外国語の公開講座 コースレベル選択の目安

	目 安
初級ステップ 1	これから会話を始める方。 語学から長い間離れており、話すことも聴くことも自信がない方。
初級ステップ 2	ゆっくり話せば簡単な会話が理解できる方。 基本的な文法や、簡単な作文ができる方。
中 級	通常会話であれば要点を理解し、応答にもそれほど不自由しない方。 表現力の不足があっても自己の意見を伝える語彙を備えている方。
上 級	聴くことも話すこともナチュラルスピードで対応でき、ディスカッションに参加できる力がある方。

2021年度後期公開講座一覧

◆五福キャンパス（18 講座）

ページ	講 座 名	開設期間 (時間)	回数 (曜日)	受講料 (その他)
1	漢文を読もう—応用編—	10/7～12/16 (18:30～20:00)	7回 (木)	7,300円 (1,980円)
2	児童のための「絵に表す活動」の指導のあり方	10/6～1/26 (19:30～21:00)	15回 (水)	9,400円 (2,680円)
3	富山の自然と環境	10/8～11/26 (18:00～19:30) (18:15～19:45)	8回 (金)	7,300円
4	電気エネルギーの基礎から応用へ—パルスパワーとプラズマが拓く技術—	11/10～11/24 (18:30～20:00) (18:00～20:00)	3回 (水)	5,300円
5	富山の雪について考える（※）	11/17～12/22 (18:30～20:00)	6回 (水)	6,300円
6	都市・交通デザイン概論（※）	10/13～12/1 (18:30～20:00)	6回 (水)	6,300円
7	雪から読み解く地球環境	12/6～1/24 (19:00～20:30)	6回 (月)	6,300円
8	世界の火葬事情	10/4～11/29 (19:00～20:30)	6回 (月)	6,300円
9	ブランド力を高めるデザイン思考	10/5～11/24 (18:30～20:00)	8回 (火・水)	7,300円
10	韓国を知ろう（後期）	9/25～2/26 (10:00～11:30)	15回 (土)	9,400円 (3,000円程度)
11	大震災が映す日本社会	10/14～11/25 (19:00～20:20)	7回 (木)	6,300円
12	韓国語によるスピーチとディスカッション(上級)	10/5～2/1 (10:30～12:00)	15回 (火)	9,400円
13	韓国語リスニング（中級Ⅱ）	10/6～1/19 (18:30～20:00)	13回 (水)	8,300円
14	フランス語（中級～上級）	10/2～2/26 (10:30～12:00)	13回 (土)	8,300円
15	中国語さらなる一歩 (会話中心の中国語中級・上級クラス)	10/4～1/31 (19:00～20:30)	15回 (月)	9,400円 (2,750円)

ページ		講 座 名	開設期間 (時間)	回数 (曜日)	受講料 (その他)
16	体験	発達障がい等のある人のための生活力向上講座・2021 (2)	10/7 ~ 12/16 (18:15 ~ 20:15) (9:30 ~ 15:30)	7 回 (木・土)	8,300円
17		知っておきたい 実務に役立つ Excel (2)	10/6 ~ 11/17 (18:30 ~ 20:00)	6 回 (水)	6,300円
18		楽しみながら伝える日本の文化・和菓子	10/3 ~ 11/14 (13:00 ~ 16:00)	4 回 (日)	7,300円 (3,000円)

◆高岡キャンパス (1 講座)

ページ		講 座 名	開設期間 (時間)	回数 (曜日)	受講料 (その他)
19	体験	初めての鉛筆デッサン	10/5 ~ 11/2 (18:30 ~ 20:30)	5 回 (火)	6,300円 (1,500円程度)

◆杉谷キャンパス (1 講座)

ページ		講 座 名	開設期間 (時間)	回数 (曜日)	受講料 (その他)
20	体験	退職後の豊かな暮らしに向けた「ケアウィル」講座 (※)	1/22 ~ 3/5 (13:30 ~ 16:50) (13:00 ~ 16:50)	4 回 (土)	7,300円

(※)の講座:会場は富山駅前CiCビル5階となります。

漢文を読もう—応用編—

教養講座

令和3年10月7日(木)～12月16日(木) (計 7日間10.5時間)

〈講座概要〉

皆さんが中学校や高校で学んだ漢文。受験のためのパズル解きで終わらせてしまうのはもったいないことです。もう一度基本からきっちり学んでみれば、今まで漢字の羅列にしか見えなかった詩や文章の向こうに、中国や日本の古人たちの表情がありありと浮かんでくることでしょう。この講座では前期の講座で学んだことを基礎として、さらに幅広いジャンルの詩文を読み、書き下し文を漢文に直す復文や、白文に句読点をつける断句にも挑戦します。

募集定員	15名
受講対象者	一般市民で、高校の漢文を学習した人（前期公開講座「漢文を読もう—入門編—」を学習済みでない方の参加も差し支えありません）。
実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第1学習室
受講料	7,300円
テキスト	内山知也他『新編 中国詩文選』白帝社 1980円 ※前期「入門編」を学習済みの方は、前期のテキストも引き続きご用意ください。
申込期限	～令和3年9月22日（水）まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 7日(木)	18:30～20:00	前期の復習	大野 圭介	人文学部・教授
2	10月14日(木)		史書を読む		
3	10月28日(木)		典故と対句		
4	11月11日(木)		散文を読む		
5	11月25日(木)		漢詩を読む		
6	12月 9日(木)		復文に挑戦しよう		
7	12月16日(木)		断句に挑戦しよう		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから10単位が認定されます。

児童のための「絵に表す活動」の指導のあり方

令和3年10月6日(水)～令和4年1月26日(水) (計15日間22.5時間)

〈講座概要〉

主として小学校における絵画について簡単な実技(作品制作ではなく教材研究)を行いながら、簡単な理論を踏まえて、絵画指導の幅を広げていくための内容です。

普段学級で使用されている教科書を使用して児童の絵画指導法について再考する機会を設けます。教材研究として各学年の題材を体験する時間を設けながら、その児童の発達段階を踏まえた指導の意義を確認しながら内容を進めます。

単に見栄えの良い掲示するための作品を完成させるための指導方法について講義する内容ではありません。あくまでも児童の側に立つ指導をめざす講座です。

募集定員	20名
受講対象者	小学校で図画工作科を指導している教員
実施場所	五福キャンパス人間発達科学部 第3棟5階 図画工作室
受講料	9,400円
テキスト	日本文教出版小学校図画工作科教科書1年～6年：280円×6冊
その他	材料費：1,000円：紙代、しなベニヤ板、版画用インキその他消耗品
申込期限	～令和3年9月22日(水)まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 6日(水)	19:30～21:00	作品主義の絵画指導の課題	隅 敦	人間発達科学部・教授
2	10月13日(水)		学習指導要領における「絵に表す活動」の捉え方		
3	10月20日(水)		低学年の絵画指導1 教材研究：1年「やぶいたかたちからうまれたよ」と「いろいろなかたちのかみ」の違いを知る		
4	10月27日(水)		低学年の絵画指導2 教材研究2年：「たのしかったよドキドキしたよ」から生活画を考える		
5	11月10日(水)		中学年の絵画指導1 教材研究：3年「絵のぐ+水+ふで=いいかんじ!」で個人絵の具の使用法を押さえる		
6	11月17日(水)		中学年の絵画指導2 教材研究：4年「これでえがくと」で描画材料の広がりを知る		
7	11月24日(水)		高学年の絵画指導1 教材研究：5年「絵の具スケッチ」で見て描くことの抵抗感を取り除く		
8	12月 1日(水)		高学年の絵画指導2 教材研究：6年「言葉から想像を広げて」で抽象的な表現の楽しさを知る		
9	12月 8日(水)		絵に表す活動としての低学年の版画指導 1 教材研究1年：「うつしたかたちから」でスタンプ遊びの楽しさを知る		
10	12月15日(水)		絵に表す活動としての低学年の版画指導 2 教材研究2年：「たのしくうつして」で紙版画の基本を押さえる		
11	12月22日(水)		絵に表す活動としての中学年の版画指導 1 教材研究3年：「いろいろうつして」でコラグラフのおもしろさを体験する		
12	1月 5日(水)		絵に表す活動としての中学年の版画指導 2 教材研究4年：「ほってすって見つけて」で彫刻刀の使い方を知る		
13	1月12日(水)		絵に表す活動としての高学年の版画指導 3 教材研究5年：「ほり進めてほり重ねて」で進め彫り版を体験する		
14	1月19日(水)		絵に表す活動としての高学年の版画指導 4 教材研究6年：「版で広がるわたしの思い」		
15	1月26日(水)		絵に表す活動としての木版画指導5 教材研究：効率的な刷りと後片付けについて		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから20単位が認定されます。

〈後援〉 富山県教育委員会

富山の自然と環境

教養講座

令和3年10月8日(金)～11月26日(金) (計8日間12時間)

〈講座概要〉

富山大学理学部生物環境科学科の教員が研究対象としている、富山県内の自然と、それを取りまく環境を、わかり易く事例を挙げて紹介する。特に、生物圏、大気圏、水圏、岩石圏で起こっている様々な現象について、地球環境を考慮しながら説明を行う。

募 集 定 員	24名
受 講 対 象 者	一般市民
実 施 場 所	五福キャンパス共通教育棟A棟2階 A23番教室
受 講 料	7,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和3年9月24日(金)まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 8日(金)	18:00～19:30	立山のお花畑が語る生物多様性	石井 博	理学部・教授
2	10月15日(金)		土と植物 ーイタイイタイ病から学ぶ土の大切さー	蒲池 浩之	理学部・准教授
3	10月22日(金)		山岳地域における野生哺乳類の成り立ち	柏木 健司	理学部・准教授
4	10月29日(金)		富山に降る雪 ー立山室堂平から富山平野ー	島田 互	理学部・准教授
5	11月 5日(金)		富山の微生物を利用した、地産地消のバイオマス利用	酒徳 昭宏	理学部・講師
6	11月12日(金)		富山の火山活動	鹿児島涉悟	理学部・特命助教
7	11月19日(金)		日本を代表する樹木「スギ」が森林生物に与える影響	太田 民久	理学部・助教
8	11月26日(金)	18:15～19:45	富山の水環境と水質調査について	佐澤 和人	理学部・助教

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから10単位が認定されます。

教養講座

電気エネルギーの基礎から応用へ —パルスパワーとプラズマが拓く技術—

令和3年 11月10日(水)～11月24日(水) (計3日間5時間)

〈講座概要〉

身近にある電気。その電気エネルギーの基礎から便利に利用するために知っておいた方がよいことや未来の電気エネルギーについて紹介するとともに電気の力を利用したパルスパワー工学の基礎から応用、そしてプラズマ科学に関する講義、それらの実験実習を行う。

募 集 定 員	12名
受 講 対 象 者	一般市民
実 施 場 所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第1学習室 五福キャンパス工学部電気棟4115室 (第3回のみ)
受 講 料	5,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和3年10月27日(水) まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	11月10日(水)	18:30～20:00	電気エネルギーの基礎から利用	伊藤 弘昭	工学部・教授
2	11月17日(水)	18:30～20:00	電気エネルギーの応用 —パルスパワーとプラズマが拓く新しい 技術—		
3	11月24日(水)	18:00～20:00	パルスパワーやプラズマに関する工作・ 実験		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。

富山の雪について考える

教養講座

令和3年11月17日(水)～12月22日(水) (計6日間9時間)

〈講座概要〉

令和3年1月は富山市の積雪が35年ぶりに1mを超えるという大雪に見舞われました。雪には慣れているはずの富山でしたが、大きな交通障害が発生し、流通にも大きな影響がでました。この講座では、この大雪はどのような気象現象だったのか？どのくらいの頻度で起こるのか？それに備えてどのようなまちづくりが必要なのか？都市デザイン学部の教員がリレー形式で講義します。

募 集 定 員	20名
受 講 対 象 者	市民一般
実 施 場 所	富山駅前 CiC ビル5階大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室
受 講 料	6,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和3年11月2日(火)まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	11月17日(水)	18:30～20:00	雪国の暮らしを支える材料	會田 哲夫	都市デザイン学部・教授
2	11月24日(水)		富山における積雪の経年変化と雪害	杉浦幸之助	都市デザイン学部・教授
3	12月 1日(水)		富山の雪の特徴	濱田 篤	都市デザイン学部・准教授
4	12月 8日(水)		最近分かった氷の話	畠山 賢彦	都市デザイン学部・准教授
5	12月15日(水)		災害時の自動車の使用と交通行動変容について考える	猪井 博登	都市デザイン学部・准教授
6	12月22日(水)		状況見積もりからの災害対応	井ノ口宗成	都市デザイン学部・准教授

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。

令和3年10月13日(水)～12月1日(水) (計6日間 9時間)

〈講座概要〉

2018年、富山大学に「都市デザイン学部」が新設されました。都市デザイン学部は、これからの持続可能な都市のあり方やそのデザインを考える学部です。この講座では、都市・交通デザイン学科の講師陣が、都市・交通・自然・防災・情報・景観などのさまざまな視点から、今後の持続可能な都市を考えるためのヒントを、身近な話題から大きなテーマまで幅広く紹介しながら解説します。最終回には、受講者自身が考えるワークショップを行います。

募集定員	20名
受講対象者	一般市民（高校生歓迎）
実施場所	富山駅前 CiC ビル5階 大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室
受講料	6,300円 高校生及び富山県内の高等教育機関に在籍している学生：半額の3,150円 富山大学学生：無料（ただし、申込み締切りの段階で制限する場合があります。）
テキスト	なし
申込期限	～令和3年9月29日（水）まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月13日(水)	18:30～20:00	都市・交通デザインを富山で学ぼう	中川 大	都市デザイン学部・教授
2	10月20日(水)		路面電車とまちづくり	本田 豊	都市デザイン学部・教授
3	10月27日(水)		川の流れの不思議と都市の水辺デザイン	木村 一郎	都市デザイン学部・教授
4	11月10日(水)		健康で丈夫な橋にするために～橋の病気・けがと治療法～	河野 哲也	都市デザイン学部・准教授
5	11月17日(水)		IoT/BD/AI技術で未来の富山を拓こう	堀田 裕弘	都市デザイン学部・教授
6	12月 1日(水)		SDGs：次世代のために「今」できることを考える	久保田善明	都市デザイン学部・教授

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。

雪から読み解く地球環境

教養講座

令和3年12月6日(月)～令和4年1月24日(月) (計6日間9時間)

〈講座概要〉

「水の惑星」である地球上で、固体の水である雪や氷は「雪氷圏」とも呼ばれています。季節によっては地球表面の約半分が雪や氷に覆われることもあり、「雪氷圏」は地球環境の変動とも大きく関わっています。また、こうした雪や氷を調べることで、様々な地球環境に関する情報を読み取ることができます。

この講座では、「六花」とも呼ばれる雪の結晶を始めとする、さまざまな雪氷現象を紹介しながら、そこから読み取れる地球環境とその変動についての話題を解説します。

募 集 定 員	25名
受 講 対 象 者	一般市民
実 施 場 所	五福キャンパス共通教育棟B棟2階 B21番教室
受 講 料	6,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和3年11月22日(月)まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	12月6日(月)	19:00～20:30	水の惑星地球 ー地球上の水の分布	遠山 和大	総合情報基盤センター・ 講師
2	12月13日(月)		雪はなぜ六角か ー水や氷のさまざまな性質		
3	12月20日(月)		世界一の雪国、日本 ー雪が降るしくみ		
4	12月27日(月)		日本にも氷河があった？ ー氷河とその周辺の環境		
5	1月17日(月)		雪はタイムカプセル ー雪氷に記録された地球環境		
6	1月24日(月)		雪と共に海を越える化学物質 ー雪から見た大気環境汚染		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。

令和3年10月4日(月)～11月29日(月) (計6日間9時間)

〈講座概要〉

現代の日本では、死者を葬る際に火葬を行うことが一般的です。また、火葬は世界各地でも広く行われています。しかし、火葬を行うときの習俗や、火葬後の遺骨の扱いは、日本国内はもとより、世界的にも地域によって様々です。

この講座では、アジア・ヨーロッパ各地の火葬場と、そこでの葬送儀礼を実地での取材にもとづいて紹介し、地域や宗教などによって異なる、「人の死に対する考え方」の違いを探ってみます。

募集定員	25名
受講対象者	一般市民
実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟2階 B21番教室
受講料	6,300円
テキスト	なし
申込期限	～令和3年9月21日(火)まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 4日(月)	19:00～20:30	日本の火葬事情 ー東西日本の火葬習俗	遠山 和大	総合情報基盤センター・ 講師
2	10月18日(月)		タイの火葬事情 ー王室の葬送儀礼を中心に		
3	10月25日(月)		インドネシアの火葬事情 ーイスラム圏華人社会の葬儀と火葬		
4	11月 8日(月)		英国の火葬事情 ー伝統と最新が交わるロンドン		
5	11月15日(月)		北欧の火葬事情 ー地域に寄りそう火葬場		
6	11月29日(月)		ベルギー・ドイツの火葬事情 ー欧州火葬文化の未来		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。

ブランド力を高めるデザイン思考

教養講座

令和3年10月5日(火)～11月24日(水) (計8日間12時間)

〈講座概要〉

少子高齢社会は、厳しい競争社会でもあります。地方においてこの課題は一層深刻化しており、都市の存続をかけて取り組まなければならない状況です。都市の特色・強みを見直し、それを再構成し、共感して貰える情報として発信していくこと、すなわち都市のブランド力を高めることが求められています。本講座では、「デザイン思考」を用いて、都市のブランド力を高める方法論を学びます。教材として都市を取り上げますが、企業の商品開発や観光地の誘客等にも適用できる内容になりますので、さまざまな業種からのご参加をお待ちしています。

募集定員	20名
受講対象者	大学生、一般市民（Power Point 又は Word 等のソフトを使える方）
実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟2階 B21番教室
受講料	7,300円 富山県内の高等教育機関に在籍している学生：半額の3,650円 富山大学学生：無料（ただし、申込み締切りの段階で制限する場合があります。）
テキスト	なし
申込期限	～令和3年9月21日（火）まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 5日(火)	18:30～20:00	デザイン思考とは？	武山 良三	理事・副学長
2	10月12日(火)		都市のブランド戦略 事例紹介：国内編		
3	10月19日(火)		都市のブランド戦略 事例紹介：海外編		
4	10月26日(火)		コンセプトの作り方：プロモーション映像を素材に考える		
5	11月 2日(火)		デザイン思考でストーリー作成		
6	11月 9日(火)		ブレインストーミング		
7	11月16日(火)		ブランドリーフレット作成		
8	11月24日(水)		プレゼンテーション		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから10単位が認定されます。

令和3年9月25日(土)～令和4年2月26日(土) (計15日間22.5時間)

〈講座概要〉

日本と韓国の間には長い交流の歴史があります。

韓国をより深く理解するために韓国語のインターネットで観光地などを調べて、韓国の文化を学びながら、自由文作りにより実践で使える韓国語のコミュニケーション力を高めます。

同時に言葉だけでなく、文化・歴史・または韓国の最新ニュースなどの話題を、韓国のインターネットと一緒に翻訳しながら楽しめます。

募集定員	15名
受講対象者	市民一般
実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第2学習室
受講料	9,400円
テキスト	3,000円程度
申込期限	～令和3年9月10日(金)まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	9月25日(土)	10:00～11:30	現地で韓国語、 韓国の近況、自由作文①	天坂 仁美	(財)とやま国際センター 韓国語講師
2	10月 2日(土)				
3	10月 9日(土)				
4	10月16日(土)		現地で韓国語、 韓国の近況、自由作文②		
5	10月23日(土)				
6	11月 6日(土)				
7	11月13日(土)				
8	11月20日(土)		現地で韓国語、 韓国の近況、自由作文③		
9	11月27日(土)				
10	12月 4日(土)				
11	12月18日(土)		現地で韓国語、 韓国の近況、自由作文④		
12	1月29日(土)				
13	2月 5日(土)				
14	2月19日(土)		現地で韓国語、 韓国の近況、自由作文⑤		
15	2月26日(土)				

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから20単位が認定されます。

大震災が映す日本社会

教養講座

令和3年10月14日(木)～11月25日(木) (計7日間9時間20分)

〈講座概要〉

2011年3月11日の東日本大震災・原発震災の発災から11年目となりました。この間、熊本や大阪などでの地震被害、国内各地での豪雨、台風被害が続いています。実態把握、原因究明、被災者支援、再発防止はどこまで進んだのでしょうか。新しい連帯、支援活動も生まれています。事例を各回で掘り下げながら、自然災害が映し出す日本社会の現実をみつめ、社会力アップの道筋を議論していきます。

募集定員	10名
受講対象者	一般市民
実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第2学習室
受講料	6,300円
テキスト	なし
申込期限	～令和3年9月30日(木)まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月14日(木)	19:00～20:20	あのとき大川小学校でなにがおこったのかー究明続く津波被災因	林 衛 藤田公仁子	人間発達科学部・准教授 地域連携推進機構・教授
2	10月21日(木)		被災者支援のNPOの活動から学ぶもの		
3	10月28日(木)		原発震災は何を奪ったのかー被災者置き去りの構造		
4	11月4日(木)		公害反対運動、被爆者原爆症認定訴訟の遺産はいかせているか		
5	11月11日(木)		ダムは洪水を激甚化しているのかー気象災害減災に向けて		
6	11月18日(木)		被災地で展開されるNPOと行政の協働した支援活動		
7	11月25日(木)		「人間を守れない」日本社会の改め方ー産官学法報への市民力		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。

韓国語によるスピーチと ディスカッション（上級）

令和3年10月5日(火)～令和4年2月1日(火) (計15日間22.5時間)

〈講座概要〉

富山大学は1970年代から朝鮮半島の言語と文化を学習できる環境を整え、各種公務員や地域のセキュリティに関わる職業、航空会社の職員等、対外的に最前線に立つ人材を育成して来ました。この講座では、日韓対照言語学の理論に裏打ちされた教授法によって、実務的な場面にふさわしい、的確で品格のある対話ができるよう支援します。授業は次のように進めます。

- 1) 一週間の出来事を作文し発表する。
- 2) 時事関連記事を韓国語に訳し、内容について意見を交わす。

募集定員	14名
受講対象者	一般市民
実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第1学習室
受講料	9,400円
テキスト	なし
申込期限	～令和3年9月21日(火)まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 5日(火)	10:30～12:00	韓国語によるスピーチとディスカッションを行ないます。 毎回、時事問題と受講者が作成した作文内容を取りあげます。	宋 有宰	富山大学・非常勤講師
2	10月12日(火)				
3	10月19日(火)				
4	10月26日(火)				
5	11月 2日(火)				
6	11月 9日(火)				
7	11月16日(火)				
8	11月30日(火)				
9	12月 7日(火)				
10	12月14日(火)				
11	12月21日(火)				
12	1月11日(火)				
13	1月18日(火)				
14	1月25日(火)				
15	2月 1日(火)				

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから20単位が認定されます。

韓国語リスニング（中級Ⅱ）

語学講座

令和3年10月6日(水)～令和4年1月19日(水) (計13日間19.5時間)

〈講座概要〉

韓国の一般の人たちが語る言葉をインタビューを通じて聴きとります。コミュニケーションの半分は聴き取りです。こちらから発話するだけでは成立しません。この講座では、実際のスピーチを教材として、聴いてハングルで書きとる訓練に集中します。

(※感染防止のため、発音練習は個々に練習していただき、時間中には行いません。)

募 集 定 員	10名
受 講 対 象 者	一般市民
実 施 場 所	五福キャンパス人文学部 朝鮮言語文化演習室 (211)
受 講 料	8,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和3年9月22日(水) まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 6日(水)	18:30～20:00	各種のインタビュー映像を通じて、韓国に生きる一般の人々の言葉を聴き、ハングルで書きとる練習をします。	和田とも美	人文学部・准教授
2	10月13日(水)				
3	10月20日(水)				
4	10月27日(水)				
5	11月10日(水)				
6	11月17日(水)				
7	11月24日(水)				
8	12月 1日(水)				
9	12月 8日(水)				
10	12月15日(水)				
11	12月22日(水)				
12	1月 5日(水)				
13	1月19日(水)				

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから15単位が認定されます。

令和3年10月2日(土)～令和4年2月26日(土) (計13日間19.5時間)

〈講座概要〉

毎回テーマを決め、それについてフランス語で作文をしてもらいます。そのあと、フランス語で意見交換や質問する時間を設けます。

また、フランス語の文章を読んだり、ニュースを視聴しながら、フランス語圏の文化の多様な側面について学びます。

募 集 定 員	25名
受 講 対 象 者	フランス語初級程度の能力を有する方。
実 施 場 所	五福キャンパス共通教育棟B棟2階 B21番教室 五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第3学習室
受 講 料	8,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和3年9月17日（金）まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 2日(土)	10:30～12:00	フランス語の表現力を身につける ／フランス語圏文化の多様な側面に触れる	上田 誠人	富山大学・ 非常勤講師
2	10月16日(土)				
3	10月23日(土)				
4	11月 6日(土)				
5	11月13日(土)				
6	11月20日(土)				
7	12月 4日(土)				
8	12月11日(土)				
9	12月18日(土)				
10	1月 8日(土)				
11	2月 5日(土)				
12	2月19日(土)				
13	2月26日(土)				

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから15単位が認定されます。

中国語さらなる一歩 (会話中心の中国語中級・上級クラス)

語学講座

令和3年10月4日(月)～令和4年1月31日(月) (計15日間22.5時間)

〈講座概要〉

この講座は、初級・準中級中国語を終了された学習者が次のステップを確実に学ぶことができるように企画したものです。すでに学習した箇所を繰り返し復習しながら、新しいものを学んでいける構成になっています。中国の文化や人情にも触れながら、中国人と中国語でコミュニケーションを取れるように、日常生活によく使う表現を会話形式で楽しく学んでいきます。

募 集 定 員	15名
受 講 対 象 者	一般市民
実 施 場 所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第1学習室
受 講 料	9,400円
テ キ ス ト	中国を知るための中国語中級テキスト —「読む辞典」付き 白帝社 小川郁夫 張科蕾 著：2,500円+税
申 込 期 限	～令和3年9月21日(火)まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 4日(月)	19:00～20:30	暑期总结 第九课「中国菜」(会话)	楊 峰	富山大学・ 非常勤講師
2	10月11日(月)		第九课「中国菜」(会话) 第十课「中国菜」(阅读)		
3	10月18日(月)		第十课「中国菜」(阅读)		
4	10月25日(月)		第九课和第十课的总结		
5	11月 1日(月)		第十一课「旅游胜地」(会话)		
6	11月 8日(月)		第十一课「旅游胜地」(会话) 第十二课「旅游胜地」(阅读)		
7	11月15日(月)		第十二课「旅游胜地」(阅读)		
8	11月22日(月)		第十一课和第十二课的总结		
9	11月29日(月)		第十三课「传统节日」(会话)		
10	12月 6日(月)		第十三课「传统节日」(会话) 第十四课「传统节日」(阅读)		
11	12月13日(月)		第十四课「传统节日」(阅读)		
12	12月20日(月)		第十三课和第十四课的总结		
13	1月17日(月)		第十五课「中国文学」(会话)		
14	1月24日(月)		第十五课「中国文学」(会话) 第十六课「中国文学」(阅读)		
15	1月31日(月)		第十六课「中国文学」(阅读) 第十五课和第十六课的总结		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから20単位が認定されます。

令和3年10月7日(木)～12月16日(木) (計7日間18時間)

〈講座概要〉

発達障がい、精神障がい、軽度知的障がいのある人のための講座です。

障がいがあっても、「働く」「暮らす」「遊ぶ」は楽しい生活を送るためにとても大切です。

この講座では、特に「暮らす」「遊ぶ」を中心に、障がい者心理を専門とする大学の先生とともに、さまざまな生活の知恵（ライフハック）について、体験的に学習します。具体的な内容は参加者のニーズに沿って調整します。

また困りごとについても相談に乗ります。個人情報を守られます。

1回ごとに完結する内容になるので、体調や都合などで休むことがあっても大丈夫ですし、遅れてきても、また途中で帰っても構いません。

仕事の後などにふらっと寄って新しいことを学んで帰れる楽しい場です。

募 集 定 員	10名
受 講 対 象 者	発達障がい、精神障がい、軽度知的障がいのある、20歳以上の方。 障がい者手帳の有無は問いません。 ただし自分のスマホを所持し、普段から電話、メールもしくはLINEが活用でき、それらを使用して講師と連絡が取れる方とします。 「発達障がい等のある人のための生活力向上講座・2021（1）」を受講した方も申し込みできます。
実 施 場 所	五福キャンパス人間発達科学部 1棟1階 111教室
受 講 料	8,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和3年9月22日（水）まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 7日(木)	18:15～20:15	(前半) ライフスキル講座	水内 豊和	人間発達科学部・ 准教授
2	10月21日(木)	(前半:19:15まで)	(後半) 余暇開発講座		
3	11月 4日(木)	(後半:20:15まで)	随時、個別相談		
4	11月13日(土)	9:30～15:30	ライフスキル・余暇実践演習		
5	11月18日(木)	18:15～20:15	(前半) ライフスキル講座		
6	12月 2日(木)	(前半:19:15まで)	(後半) 余暇開発講座		
7	12月16日(木)	(後半:20:15まで)	随時、個別相談		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから15単位が認定されます。

知っておきたい 実務に役立つ Excel (2)

体験講座

令和3年10月6日(水)～11月17日(水) (計6日間9時間)

〈講座概要〉

Microsoft Excel を使って、知っておくと便利な機能、作業をスピードアップさせるための勘所を体験していただきます。学習を重ねていくことで、テーブルを用いたグラフの作成、分析、VisualBasic での簡単な開発ができるようになることを目標とします。

より応用的な課題にもチャレンジしていただく内容としており、Excel への理解度が深まることを実感いただけます。

募 集 定 員	10名
受 講 対 象 者	windows10 および Excel の基本的な操作を習得しており、意欲的にスキルアップされたい方を対象とする。 ※パソコンスキルおよび受講意欲がこれらの前提に満たない場合は、講座途中でも受講をお断りする場合があります。
実 施 場 所	五福キャンパス総合情報基盤センター第4端末室（4階）
受 講 料	6,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和3年9月22日（水）まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 6日(水)	18:30～20:00	表作成の基本操作	辻井 直美	総合情報基盤センター・技術補佐員
2	10月13日(水)		関数を活用した表の作成		
3	10月20日(水)		テーブルの作成とデータ抽出		
4	10月27日(水)		ピボットテーブルの基礎	遠山 和大	総合情報基盤センター・講師
5	11月10日(水)		Excelマクロの使い方入門		
6	11月17日(水)		VisualBasicを活用したプログラミング		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。

令和3年10月3日(日)～11月14日(日) (計4日間12時間)

〈講座概要〉

家庭でつくられる事が少なくなった日本の伝統食「和菓子」。この大切な日本文化である「和菓子」を、現役和菓子職人から直接学ぶ講座です。家庭で作る事、食べる事を通して、周囲の方々と伝統食「和菓子」や「歳時記」の素晴らしさを共有し、次世代へ伝えていく事をテーマに、和菓子作りやその背景にある文化を楽しく学びます。

募 集 定 員	20名
受 講 対 象 者	一般市民
実 施 場 所	五福キャンパス人間発達科学部 第2棟2階 調理室
受 講 料	7,300円
テ キ ス ト	なし
そ の 他	材料費：3,000円
申 込 期 限	～令和3年9月17日(金)まで
問 合 せ 先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月 3日(日)	13:00～16:00	和菓子の基本、小豆を炊く	引網 康博	和菓子職人
2	10月24日(日)		季節のお菓子を楽しむ		
3	11月 3日(祝)		おもてなしのお菓子を作る	藤田公仁子	地域連携推進機構・教授
4	11月14日(日)		上生菓子の奥行き		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから10単位が認定されます。

初めての鉛筆デッサン

体験講座

令和3年10月5日(火)～11月2日(火) (計5日間10時間)

〈講座概要〉

初心者を対象としたデッサン講座です。

デッサン道具をどのように使用したら良いのか、また形・光・色彩をどのように表現したら良いのかなど、基礎的なデッサン方法を学びながらデッサンの魅力と面白みを体感していただきます。

募 集 定 員	15名
受 講 対 象 者	中学生、高校生、一般
実 施 場 所	高岡キャンパス H182・183
受 講 料	6,300円 中学生、高校生及び富山県内の高等教育機関に在籍している学生：半額の3,150円 富山大学学生：無料（ただし、申込み締切りの段階で制限する場合があります。）
テ キ ス ト	なし
そ の 他	材料費 (画用紙、鉛筆、ねりゴム、ガーゼ、スケール、その他デッサン道具) 66～1,500円 授業初回にデッサン用具の購入希望を伺います。2週目にお渡しし、代金をお支払いいただきます。 ご自身でお持ちの道具をご使用される場合、画用紙代66円のみかかります。
申 込 期 限	～令和3年9月21日(火)まで
問 合 せ 先	高岡キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	10月5日(火)	18:30～20:30	講座内容の説明、道具説明	長田堅二郎	芸術文化学部・講師
2	10月12日(火)		形のとらえ方、遠近法		
3	10月19日(火)		光と色彩、面と線による表現		
4	10月26日(火)		細部の効果		
5	11月2日(火)		仕上げ、講評		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから10単位が認定されます。

体験講座

退職後の豊かな暮らしに向けた「ケアウィル」講座

令和4年1月22日(土)～3月5日(土) (計4日間 14時間)

〈講座概要〉

富山大学で研究開発した退職後の第2の人生をサポートする「ケアウィル」プログラムを公開します。居場所や役割が大きく変わる退職期にどのような取り組みが人生を豊かにするのかについて学び、人生100年時代の豊かな暮らしを実現する退職後を設計します。

募 集 定 員	20名
受 講 対 象 者	退職前後5年以内の方
実 施 場 所	富山駅前 CiC ビル5階 大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室
受 講 料	7,300円
テ キ ス ト	なし
申 込 期 限	～令和4年1月7日(金)まで
問 合 せ 先	杉谷キャンパス

〈講座内容〉

回数	期 日	時 間	題 目	講師氏名	所属・職名
1	1月22日(土)	13:30～14:30	第2の人生と生きがい	立瀬 剛志	医学部・助教(疫学・健康政策学)
		14:40～15:40	地域における繋がりとケア	鏡森 定信	富山大学名誉教授
		15:50～16:50	高齢期の活動を支援する社会の窓口	新鞍真理子	医学部・准教授(老年看護学)
2	1月29日(土)	13:30～14:30	人との関わりとライフケア	野上 睦美	金城大学・講師
		14:40～15:40	退職後の日々の暮らし	藤森 純子	NPO法人みどりの風・理事
		15:50～16:50	ポジティブエイジングに向けたセルフモニタリング	立瀬 剛志	医学部・助教(疫学・健康政策学)
3	2月 5日(土)	13:30～16:50	ケアウィルプランニング		
4	3月 5日(土)	13:00～16:50	ケアウィル発表会		

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから10単位が認定されます。

富山大学地域連携推進機構生涯学習部門で実施しているその他の事業

○オープン・クラス（公開授業）

各学部及び教養教育が開設している授業を一般市民に公開しています。科目数は、前学期・後学期あわせて 800 科目程度にものぼり、高度な生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、学習機会を広く地域住民に提供し、本学と地域社会との連携を深めています。平成 29 年度からは、より高度で専門的な大学院の授業科目をハイ・グレード・オープン・クラス（HGO C）として位置づけ公開しています。

○サテライト講座

一般市民を対象に 9 学部の教員がそれぞれ講師を担当し、年 9 回の講座を開催しています。多彩な専門分野を有する富山大学の教員陣が、日ごろの研究成果を皆様に向けてわかりやすくお話しします。

○まちなかセミナー

北陸地区の国立大学が連携して、富山・石川・福井の各県にて「まちなかセミナー」を実施しています。各県の会場にて、他県所在の教員を招聘し、幅広く多彩な学術内容の普及につとめます。

○富山大学市民講座

9 学部に附属病院、和漢医薬学総合研究所を加えた 11 部局を擁する総合大学である本学の研究者たちが、交代で 1 つのテーマについて体系的・学際的に紹介していく講座を読売新聞北陸支社と共催で開催しています。

○講師紹介・生涯学習相談

地域連携推進機構・生涯学習部門では、一般市民の皆様、県市町村その他各種団体の方々に対し、生涯学習・大学開放に関する各種相談事業を行っています。講演依頼や公開講座に関するご意見・ご要望・ご相談がありましたら、お気軽にメール・電話・FAX などで声をお寄せ下さい。

各事業の詳細は、富山大学ホームページをご覧ください。
(URL:<http://www.life.u-toyama.ac.jp/>)



オープン・クラス、公開講座受講生の方ご自由にお使いください。

生涯学習部門 受講生オープンサロン

休憩・ご飲食場所としてお使いください。

●利用時間

授業期間中(4-7月、10-1月)

- ・公開講座のある日 8:30～講座終了20分後
- ・公開講座のない日 8:30～16:30
- ・土・日曜日 講座開始20分前～講座終了20分後

授業期間外(8-9月、2-3月)

- ・公開講座のある日 講座開始20分前～講座終了20分後
- ・その他、相談会を実施する時間

●場所 富山大学五福キャンパス
生涯学習部門（共通教育棟B棟）2階

生涯学習相談会を開催！

生涯学習部門専任教員が担当します。受講相談、
お困りごとをお話してください。

開催日は、

月～木曜日 15:00～16:00 です。

*都合により急きょお休みさせていただく場合があります。
お休みの場合は、サロンの掲示でお知らせします。

— ✕ 毛 —

— ✕ 毛 —

表紙作品



『inu』

f10号 キャンバスに油彩

自分の感情や思いを擬人化するように描いています。
描き進めるにつれて、人物の表情やしぐさがだんだん変化していきます。
その移ろいの中で、言葉にならない思いや感覚が
絵にとどまるのではないかと考えます。

加納萌子（かのう もえこ）

1995 富山生まれ

2018 富山大学芸術文化学部 卒業
富山大学芸術文化学研究科 入学
個展「respiration」青井記念館美術館

2019 グループ展「ビエンナーレTOYAMA 2019」富山県美術館

2020 グループ展「こしの会」銀座スルガ台画廊



国立大学法人

富山大学

地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555 富山県富山市五福3190

Tel. 076-445-6956 E-mail: lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

URL: <http://www.life.u-toyama.ac.jp>